

第003号



NPO 法人

茨城県防災士ネットワークだより

発行日 平成24年 10月吉日

発行元 特定非営利活動法人

茨城県防災士ネットワーク

発行者 理事長 西村 正夫

責任者 機関紙委員長 高橋 茂

★H24年度・ぼうさいの日特集

例年、9月1日の防災の日前後は各地において防災に関するイベントが盛りだくさんに実施される。茨城県においても、多くの自治体や社会福祉協議会、自主防災組織等の各種団体で講演や訓練が行なわれた。

これに伴い、当ネットワークにも講演を始め多くの依頼が殺到した。今号はこれらに参加した会員の活躍ぶりを中心に掲載した。

1. 講演会・研修会等の実施状況

講演会講師の依頼や研修会の指導の依頼が多く舞い込んでいることについては、本誌の先々号にて報告したが特に、東日本大震災をきっかけにした余震の継続と、南関東を震源とする大地震並びに首都直下型地震における茨城県への直接的影響の大きさがマスコミ等に取り上げられたこともあり、これまで以上に講演を主体としたわれわれの普段の減災活動への期待が高くなっていると言える。

最近の講師派遣先の特徴としては、これまでの自治体や小中学校区、自主防災組織だけでなく、さまざまな団体等からの依頼が多くなっている。例えば、教育財団を始め、私立高等学校や企業等の一般法人、さらには地域任意団体等のセミナーといった多方面からの講演依頼が目だっている。

今回の総会でも述べたが、このように講演や研修会の依頼が増えてくると、これまで一部の役員だけで実施してきた講師陣だけでは対応が困難となってきているのが実情である。そこで今後は一般会員の皆さんの協力が必須となってきている。

平成24年度の茨城県防災士ネットワークの事業計画は、これ等を踏まえて立案されたものであり全会員が承知いただくとともに、期待に応えられるようスキルアップして行く必要があると考えている。その為には、救護、救援、訓練といったハード的な向上策だけでなく、プレゼンテーション能力の向上や安全管理といったソフト的な能力向上についても検討すべき段階に来ていると考える。

各種講演会等のスナップ



(財)茨城県立歴史館における安全セミナー



大子町 防災セミナー (写真: 益子さや子氏 提供)



境町 防災講演会 (写真:神郡 正光氏 提供)



利根町 防災講演会 (写真:永倉 喜代氏提供)



学校法人 早稲田学園わせがく高等学校水戸キャンパスにおける防災講話(写真:渡辺 平氏提供)



土浦市菅谷町集落センターにおける防災講話
(写真:宮本 博海氏 提供)



土浦市東都和自治会講演会
(写真:宮本 博海 提供)

2. マスコミに対応

(1) ㈱茨城新聞社殿から、「防災の日特集」に関する取材の依頼があり、西村理事長と高橋副理事長の2名で対応した。記事は、8月30日(木)付けで【家族そろって防災会議】の見出しで2面にわたって掲載された。

記事の概要は、「家の危険箇所点検」、「災害時の心構え」、「連絡方法の確認」、「避難場所の確認」、「備えは大丈夫?チェックリスト」の5項目について掲載された。

本記事のまとめとして、日頃から防災意識を高めていくことが、自ら命を守る”自助力“を高めることにつながりますと結論付けた。

(2) 榊茨城放送殿から、防災の日にちなんで9月1日(土)16時20分～16時30分の出演予定で「市民主導で地域防災～何ができる？何をすべき？」とのテーマでの電話対談形式の依頼があった。

対応に当っては生出演ということもあり、事前に局からの質問内容(事項)を確認した上で、当法人としての考えをまとめ西村理事長が対応した。

3. 理事会報告

H24年度第3回理事会が去る水戸市社会福祉ボランティア会館ミオスにて18時00分～21:00分にわたって開催された。主な議題は以下のとおり

- (1) いばらき防災大学におけるDIG研修(11/4 予定)並びに県・総合防災訓練(11/10 予定)の内容報告
- (2) 今後の各種講演会、自治体防災訓練並びに「命のホイッスル」活用について
- (3) NPO促進法に伴う、当法人の定款一部改定について
- (4) 年会費未納者への今後の対応について
- (5) その他

審議の内容と結果については

- (1) におけるDIG研修については、根岸専務理事並びに神郡理事を中心に準備していただくことを決定
- (2) については、9/5 付けにて郵送した当面の「各行事のお知らせ」のとおり。また「命のホイッスル」については、各エリアごとに100個ずつ配布し、その活用方法についてはエリア長に一任することに決定した。
- (4) については、年会費納入者にはとりあえず納入の依頼を書面で郵送し注意喚起することで合意した。
(なお、定款の規定では、定められた期間内に会費を納入しなかった場合には会員資格を停止する。継続して1年以上滞納したときは、会員資格を喪失することがある)
- (5) その他では

今後、予定されている県立盲学校並びに北茨城特別支援学校(北茨城養護学校)における防災教室の進め方について協議した。

また、会員が外部に対して発信する講演・研修活動や文章作成等の執筆活動における注意点についての説明があった。今後さらに多くの対外活動が見込まれる状況から、各エリア長をとおして会員全員に徹底を御願いたい。

4. 新会員の紹介

以下の3名から入会希望があり、承認された。

- | | |
|------------------|-----------------|
| ① 横山 松夫 氏 牛久市南町 | ④ 鶴田 弘司 氏 笠間市中央 |
| ② 大高 仁護 氏 水戸市千波町 | ⑤ 鶴田 育志 氏 笠間市中央 |
| ③ 富樫 泰一 氏 水戸市東原町 | |

今後の活躍を期待します。

★ 機関紙担当よりの御願

多くの会員の方の活動情報が理事会等で聞かれます。そういった活動内容を会員の皆様にも届けたいと思いますので、活動状況の写真や内容、感想等については是非とも下記担当までお送り下さい。出来るだけ多くの情報を当ネットワークだよりに掲載したいと思っておりますので、ご協力よろしく御願いたします。

担当：機関紙委員長 高橋 茂

TEL:0294-70-2939(Fax 共) 携帯:090-1655-4113 メールアドレス:s-takaha@xd6.so-net.ne.jp

住所 常陸太田市小沢町1455-2